

平成27年1月30日

お知らせ

一般社団法人日本木材輸出振興協会  
会 長 安藤直人

林産物のジャパン・ブランドの確立に向けた  
品目別輸出団体としての取組みについて

一般社団法人日本木材輸出振興協会は（前身の日本木材輸出振興協議会の時代を含めて）、木材輸出をビジネスレベルに高めるための取組を進めてきました。特に、重点的な輸出先国である中国及び韓国において、住宅展示会への出展や日本産木材の利用手引きの作成、中国の木構造設計規範（日本の建築基準法に相当）の改訂作業への参画等の取組を行ってきました。

このような中、昨年来、農林水産物等輸出促進全国協議会の下に設置された輸出戦略実行委員会の林産物部会での議論を経て、「林産物の輸出拡大方針」が策定されました。

当協会は、同方針に基づき、林産物の輸出団体としての役割を担うべく、当協会の取組の強化・拡充を図っていくことを、平成27年1月29日の理事会において確認しました。

今後、当協会は、農林水産省や林野庁、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）等による各種支援措置を活用し、また、関係団体等のご理解とご協力を頂きつつ、産地間連携体制の構築のほか、新たな輸出需要の開拓に向けた調査の実施、海外におけるジャパン・ブランドの確立を目的として、丸太や付加価値を付けた日本産木材製品の輸出、木造軸組住宅等のPR、中国の木構造設計規範への対応等に努め、木材の輸出拡大に向けて、組織を挙げて取り組んで参ります。

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本木材輸出振興協会  
担当者：大迫、平沢、趙（ちょう）  
電話：03-5844-6275

(参考)

一般社団法人日本木材輸出振興協会（概要）

(設立年月日)

平成 23 年 1 月 26 日

(目的)

国産材（国内で生産された丸太、加工品及び木造住宅部材等）の輸出振興

(事業)

- ・ 輸出先のニーズにあった木材加工技術の調査及び需要開発
- ・ 国産材の輸出に関する国内外の関連情報の収集及び調査研究
- ・ 国産材の輸出拡大に必要なセミナー、講習会の開催
- ・ その他

(役員)

会 長 安藤直人（東京大学名誉教授）

副会長 吉条良明、佐藤重芳、斉藤敏

理 事 11 名

監 事 2 名

(会員)

全国 63 の法人及び個人会員（平成 26 年 12 月 6 日現在）

主な会員：行政機関、木材団体、木材加工業者、住宅メーカーなど